

2010年6月8日

JARIP会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山・福田・清水・伊藤・河野

JARIP 2010年度第1回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（JARIP）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。2010年度第1回研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、増川純一氏（成城大学経済学部教授）より、「株価の経済物理学」のテーマでご講演をいただきます。

経済物理学は、主として、物質の世界で培われた統計物理学の手法を援用し、経済を題材とした実証主義的研究を行う物理学の領域です。

講演では、株式市場の電算化により豊富に蓄積された約定データ（ティック・データ）やオーダーブックを用いた詳細な実証研究の成果を検討し、それに基づいて経済物理学が構築しようとしている複雑系としての株式市場像を紹介していただきます。

当学会のメンバーにとってまたとない機会となります。

ご講演の後の質疑応答や意見交換を通じてさらに理解を深めていきたいと考えております。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第1回研究会

日時：2010年6月25日（金曜日） 16時から18時

場所：朝日生命大手町オフィス1階大会議室

（地下鉄大手町駅またはJR東京駅下車、徒歩5分）

（別紙 周辺地図をご参照下さい）

講師：増川純一（ますかわ じゅんいち）氏（成城大学経済学部教授）

（講師略歴をご参照ください）

講演題目：「株価の経済物理学」

1. 連続ダブルオークション市場における価格形成
2. 価格変動の統計的性質（ファットテイル、長期記憶など）
3. 市場インパクト（出来高、流動性、情報からの検討）
4. 株式市場における内生的価格形成
5. 株式市場の複雑系モデル

研究会講演要旨：

経済物理学は、主として、物質の世界で培われた統計物理学の手法を援用し、経済を題材とした実証主義的研究を行う出来たばかりの物理学の領域です。

株式などの金融市場はデータの豊富さから、経済物理が好んで取り上げるテーマの一つです。

バシェリエ以来、株価変動は正規分布に従うランダムな時系列として扱われてきました。ポートフォリオ理論や資産価格理論、ブラック・ショールズ・オプション価格式などの金融理論はその基礎の上に展開されました。

しかしながら、株価変動分布が、正規分布とはかなり違う、広く厚い裾野（ファット・テイル）を持つこと、変動の大きさが数日以上（時には数ヶ月を超える）相関を持つことなどが、ロンドン、パリ、フランクフルト、東京、ニューヨークなど、世界の主要な株式市場すべてで確認されています。

この講演では、株式市場の電算化により豊富に蓄積された約定データ（ティック・データ）やオーダーブックを用いた詳細な実証研究の成果を検討し、それに基づいて経済物理学が構築しようとしている複雑系としての株式市場像を紹介します。

2. 参加申し込み

参加希望者のお名前・所属組織名・Eメールアドレス・電話番号に加え、

「6月25日（増川先生）の第1回研究会への参加申込」と明記の上、Eメールにて

To : office@jarip.org (日本保険・年金リスク学会事務局)

Cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp (同 研究会担当：栗山晃)

迄お申込ください。

参加申込は6月21日（月曜日）迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて1,000円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承ください。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承ください。

以 上

講師略歴：

増川 純一（ますかわ じゅんいち）氏（成城大学経済学部教授）

静岡大学理学部物理学科卒業

大阪大学大学院基礎工学研究科数理系博士課程修了（工学博士）

花王株式会社数理科学研究所研究員

福山平成大学経営学部経営情報学科教授

などを経て現職。

朝日生命大手町ビル周辺地図

【朝日生命本社へのアクセス】

〒100-8103 千代田区大手町2-6-1
朝日生命大手町ビル

アクセス : JR東京駅八重洲北口改札を出て左に曲がり直進し、日本橋口より2分。または地下鉄大手町駅B6番出口より1分。

